一眼レフカメラの使い方

フィルムは光を感光することで焼き付きます。フィルムを光にさらすこと全般を露光といいます。露光の設定について説明します。露光には大きく３種類あります。

●Step1

・ISO感度・・・ISO感度とは、フィルムの光の感じやすさ。値が小さいほど感度が低く,精密、値が大きいほど感度が高く,粗い。

・絞り・・・光量、レンズの広さ。絞り値が小さいほど間口は広い光量は多いシャープに写る。値が大きいほど間口は狭く光量は少ない。
被写界深度と関係がある。

・シャッタースピード・・・シャッターを開いている時間の長さ。スピードは短いほど光あたる時間は短く、光量は少ない。スピードが長いほど光があたる時間は長く、光量は多い。

フィルムが感じる光が多いほど明るい写真になり、少ないほど暗い写真になる。

●Step2

※被写界深度・・・ピントが合う範囲。絞りと関係性がある。
ピント範囲が狭いと一つの距離にピントが合い、周りがぼける。

絞り	絞る（大きい値）←	→開く（小さい値）
深度	深い←	→浅い
ピント範囲	広い←	→浅い

・露出補正・・・逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまったり夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正する。
「－」に補正すると、全体は暗く、コントラストが強調されやすい
「＋」に補正すると、全体は明るく、コントラストは曖昧になりやすい

・光の軌跡を写すには？
→